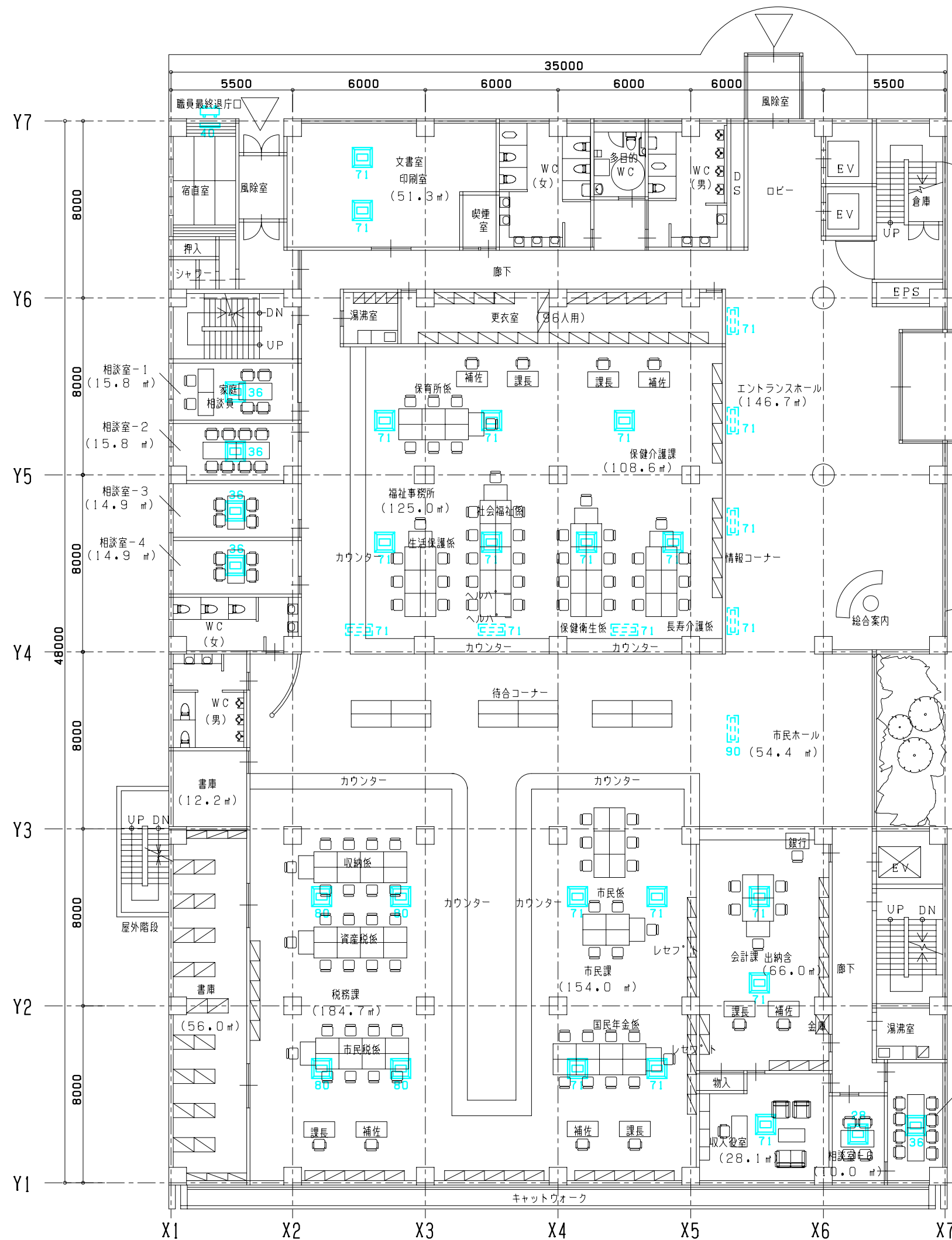


★空気調和システム7案比較検討の結果、ランニングコスト、環境面を考慮した結果、ケース2の設備が最適であり、本工事に採用する。



※空気調和設備概要

a) 機器設備

各階空調必要箇所に機器を設置し冷暖房を行う。  
 空調方式：個別分散熱源方式  
 氷蓄熱マルチエアコン+電気マルチエアコン  
 床置型・・・サーバー室  
 天井カセット型・・・その他

空調諸室：エントランス・市民ホール・待合いコーナー・相談室  
 事務室・応接室・会議室・コピー室・防災室・防災無線室・サーバー室  
 休憩室・図書館関係居室・議場関係居室・宿直室

非空調諸室：2階以降の廊下・ロビー  
 湯沸室・便所・倉庫類・更衣室・喫煙室

室外機設置場所：1階宿直室用→屋外  
 1階～3階用→4階屋上  
 4階～7階用→7階屋上





b) 配管設備

各室空調機器より室外機までの冷媒配管、屋外雨水会所樹までのドレン配管を行う。

※自動制御設備概要

各室空調機と全熱交換器の連動を行うと共に、集中管理を行う。  
 また、中央監視設備に連結し各機器のスケジュール管理及び計測を行う。

機器記号

- ：空調室内機（天井カセット形）
- ：空調室内機（天井埋込形）
- ：空調室内機（壁掛形）
- ：空調室外機



1階 空調計画図 S=1/200 (A案)

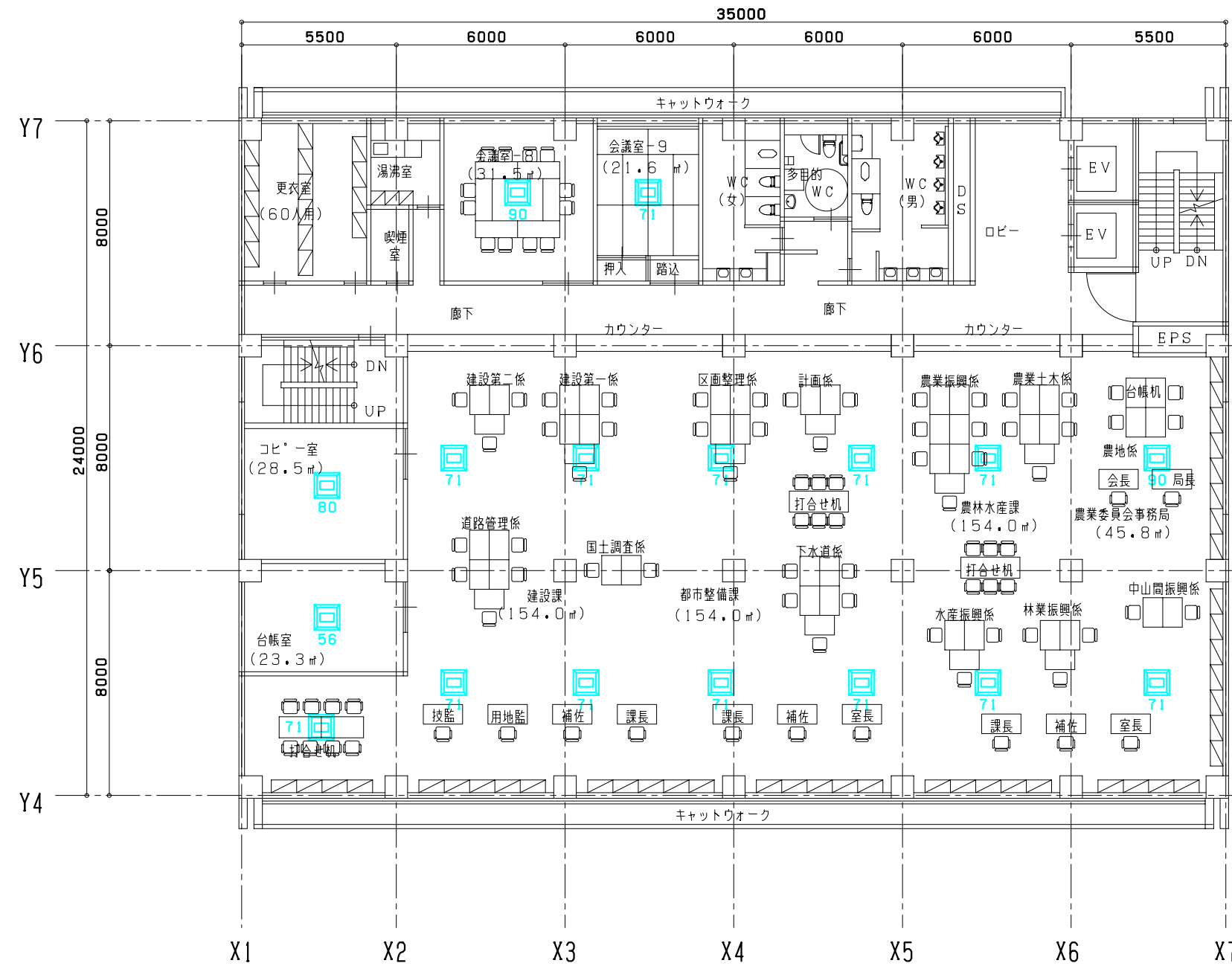







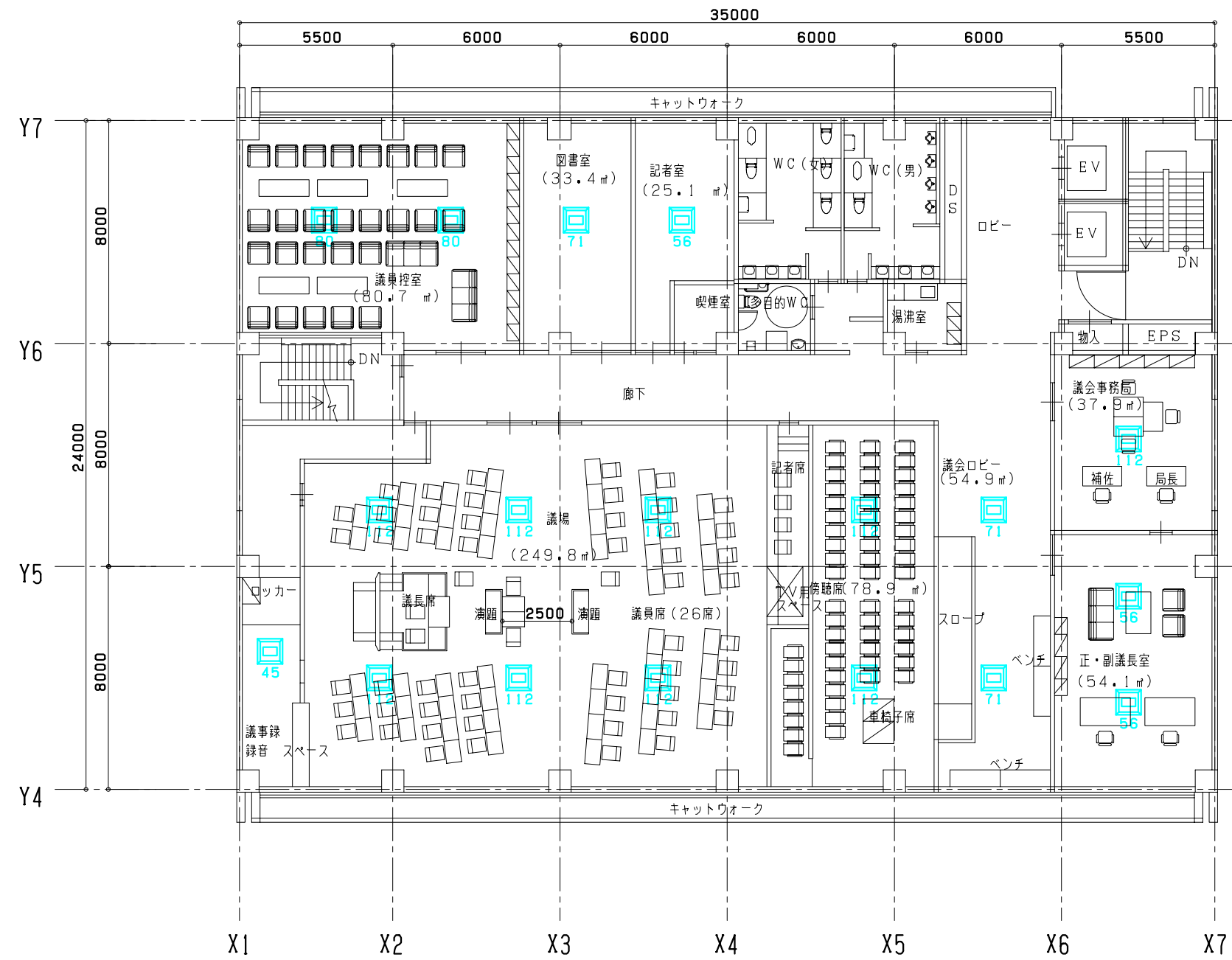
機器記号

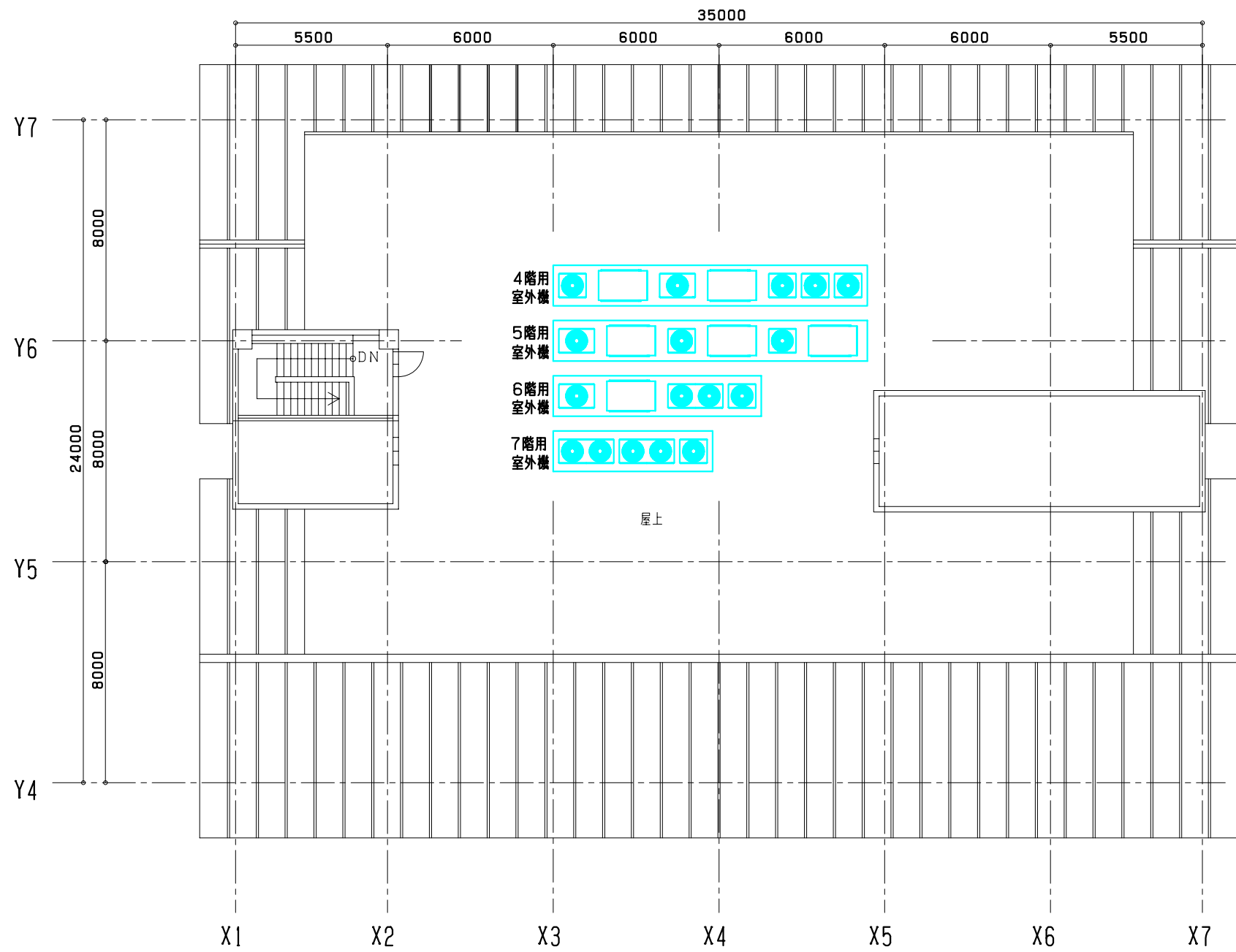
☐ : 空調室内機 (天井カセット形)





機器記号  
 : 空調室内機 (天井カセット形)





屋根 空調計画図 S=1/200 (A案)